

# 柏崎刈羽原発の地元に住む

## 若い母親の座談会

編 集 部

2011年3月福島原発の過酷事故を受け、世界最大の出力を誇る柏崎刈羽原発の地元に住み幼児を育てている若いお母さんたちに、この事故をどう受け止め、どう対処しようとしているかを現地で尋ねました。

(編集部)

内山 昨年3月11日、東日本大震災による災害で、原発は安全だと言われてきた福島・原発の事故が発生し、放射能汚染による被害が甚大となっています。最大の出力をもつ原発を近くにひかえる皆さんは、どんな思いでこの事故を受け止められたか、率直なお気持ちを聞かせ下さい。

母親Aさん 爆発している様子をテレビで見ている

どうなっちゃうのかなあと怖いだけでした。今後どういう影響があるのだろうか、どこまで被害が出るのだろうかとか、わからないけどただ怖いだけでした。

母親Bさん そうですね、起きたときはこれ終息できるのか、ずっと出続けるのか不安で、また、地震でもあれば、原発が近くにあるので、幼い子どももいるし不安です。

母親Cさん 3・11で、揺れはあまりなかったけど、福島とは別世界のことのようにではあったが、でもここも福島と同じような状況になってもおかしくないなあと思った。地震はだれにも止められないし原発もあるわけだから、どうすれば福島のようなことを止められるのか、私たちにはわからない。

**母親Dさん** 中越沖地震のような頻繁に地震が起き、原発がそばにあるのでこの先どうなるんだろうと思っ  
てはいました。実際、福島原発の映像なんかをテレビ  
で見ると、ほんとにこういうことが実際に起こってい  
るわけで不安の一言です。子どもがまだ小さいのでこ  
れからの生活とどう向き合っていけるかが心配です。

**父親Eさん** 私は米と野菜のハウス栽培農家です。  
食べ物とかの放射能の基準がくるくる変わるのが結構  
気になったりします。

私の作った米やブロッコリーなどに放射性物質が入  
らないか心配です。ビニールハウスがいまのところ、  
防いでいると思います。

**母親Bさん** 食べ物の放射能汚染がいちばん心配で  
す。スーパーなどでは肉など検査済みとあり、それを  
信用して買ってはいますが。

**内山** 放射能汚染の問題が一番の不安だとおっしゃっ  
ていましたけど、放射能の問題について、専門家によ  
るお話など実施されているのでしょうか。たとえば、  
放射能による子どもへの影響など話を聞く機会はある  
のでしょうか。

**母親Aさん** 確か、不安があれば個々に相談は出来  
るよという手紙は小学校から来ている。

**母親Bさん** 放射能による子どもへの影響？影響ま  
では書いてない。原発についてのお話会みたいなチラ  
シは見たような気がします。

**内山** これまで小学校の段階で不安があれば答えま  
すよという学校からの連絡ですね、就学前のお子さん  
への影響について、たとえば市役所からの情報はなかっ  
たわけですか？

**母親Aさん** ないですね、幼児についての情報が入っ  
てこない。あるのかもしれないけど、いつお話会があ  
りますよとかいうのはわからない。

**母親Cさん** 市報に載っているのかもしれないけ  
ど、それだけでは見落としてしまう場合もあるからも  
うちよつとあちこちでそういった情報が入ってくれば  
わかりやすい。

**母親Bさん** 広報とかに載っていても他のたぐき  
の情報の中に埋もれちゃってる場合があります。

**内山** お子さんがある皆さんに対してもし万が一そ

んな事故が起きた時にどんな処置をするかという手立てを考えて住民の皆さんに知らせるといふ機会はあるだろうと思いますが、そんな話は聞きませんか。

母親のみなさん わかりません。

内山 原発の事故にそなえて、ヨウ素剤は家庭に配られていますか。子どもの甲状腺ガンがチエルノブイリでは多発した。そのガン予防に、ヨウ素を飲むといひそうです。柏崎刈羽原発は7基でもし事故があれば、子どもたちのガンなど病気の被害が予想されます。

母親Dさん えっ？はっ。ヨウ素のことは聞いていません。

内山 お母さんたちにとつて最も心配していることの情報はほしいですね。住んでいる方にとつてはいつどんなふうになるかということは不安ですよ。そこでこれから地元の自治体や東電にどのような要求、要望がありますか、お聞かせ下さい。

母親Aさん 東電には、東北の震災みたいなことがあつた場合、地震の揺れとかその後の影響などを分かりやすく、地震対策や津波対策などを教えてもらいた

い。

それともうひとつ、防災について万が一災害が起きたらどうすればいいのか、自分の身を守るにはどうすればよいか、具体的に集会や講座があれば教えてほしい。災害に対しての知識がほしい。

母親Bさん 原発から何キロ圏内がどういうことになるのかマップみたいのを広報に載せてもらえたらいい。地震や津波の時、原発がこうなりますとか、地域別の対策とか、ごく近くに住んでいるのでどこに逃げて大丈夫なのか、逃げ道を知りたい。

母親Cさん その際、専門用語とかをいっばい使わないでわかりやすいように教えてほしい。

母親Dさん 福島の事故がなければ原発のことなど考えてこなかった。これからは原発のことも勉強して子どもと一緒に成長していきたい。幼児には放射能の影響が大人とは比べものにならないほど大きいと聞いていますから。

内山 お話、ありがとうございました。

(文責・内山雄平・事務局長)